

令和6年度普及活動アルバム

上田農業農村支援センター

当センターでは、「第4期長野県食と農業農村振興計画」の基本目標に掲げた「人・食・地域 つながり輝く上小農業」の実現に向けて、キーワードとした“つながる”、“つなげる”を念頭に置き、上小地域の農業・農村の課題解決に取り組みました。

重点活動（2年目）では「上小地域における水稻農家の収量品質向上による収益確保」に向けて、大規模農家の収益確保対策を推進するため、減収要因の明確化及び肥培管理技術の見直しにより、単収向上・収益確保を図り、産地全体の収益力アップにつなげる活動を展開しました。



【通年】

地域の農業を支える人・組織の育成（地域計画策定支援）

地域計画の策定期限まで1年となった年度当初、市町村の進捗状況を確認・連携しながら計画策定が進むよう、市町村、農業委員会等の支援を行いました。

また、地区によっては、集落懇談会に参加し、グループ懇談の進行補助や地域計画と目標地図作成の進め方のアドバイス等を行いました。



【4月】

直売所出荷者向け研修会

野菜生産者など25名を対象に、直売所における生産者ごとの売上分析や長期出荷のポイント、高品質な農作物生産に向けたコツについての講習を行いました。参加者からは多くの質問が出され、栽培技術の理解度の向上が図られました。また、直売所関係者からも「今後も技術向上に向けたセミナーを設けたい」と意見をいただきました。



【7月】

りんご高密度植栽培の推進

りんご高密度植栽培及び夏季管理講習会を開催しました。

特に梅雨明け前後からの高温下の日焼け対策を説明しました。近年、多目的防災ネットの導入事例が増えており、日焼け対策としても有効であることも紹介しました。

また、高密度植栽培を導入した農家からは園地やトレリスの方向により葉摘みを行うなどのポイントが紹介されました。



【7月】

農作業安全の推進

女性グループ「かたくりの会」を対象に農作業安全講習会を開催しました。刈払い機、管理機を用意し、実作業を交えながら機械の安全使用に関する講習を行うとともに土寄せ作業の要領を習得しました。

講習会終了後には、会員から「農業機械を安全に操作する方法がよく分かった」との感想をいただきました。



【9月】

食文化の継承と食育の推進

東御市の小学校を会場に食育授業を開催しました。長野県や市の農業生産の概要や地産地消について、クイズなどを行いながら食育の大切さを学びました。

地元の若手ぶどう農家からは、ぶどう栽培の歴史と特色、農家になった経緯や農業のすばらしさについて話していただき、将来一緒に栽培できることへの期待も伝えられました。



【11 月】

新規就農者支援セミナー

新規就農者の育成・定着を図るためセミナーを開催しました。共通講座（土壌肥料、簿記、病害虫）と専門講座（野菜、果樹、花き）を設定したところ、簿記講座を希望する方が多く、また、花きコースには他品目で就農、研修している方の参加もあるなど関心の高さが伺えました。



【12 月】

プロジェクト活動・意見発表会

青年農業者のスキルアップを図るとともに農業青年クラブ活動の一環として、両発表会を共催し、約 40 名の若手農家が参加しました。「ぶどう生産における農福連携」を PJ テーマに、福祉事業所と協力した農福連携の取り組みの発表と、「変わるもの変わらないもの」と題し、変わり続ける環境の中で、人や地域とのつながりの大切さについての意見発表がありました。



【8・2月】

農業士協会・農業経営者協会支部の活動支援

農業士協会は「J R フルーツパーク仙台あらはま」（野菜・果樹を 1 年を通して摘み取り体験ができる観光農園）を視察研修しました。

農業経営者協会は農村生活マイスター協会等と共催し、地元県議と「農業農村の維持・発展」、「女性農業者の活躍」などをテーマに意見交換を行いました。